

# 周防大島町の話題



▲一列になり植えていく園児とJ A女性部、職員の皆さん

## 食の大切さを学ぶ

6月5日、中保育園の園児とJ A山口県周防大島統括本部の職員や女性部のみなさんで田植えを行いました。

これはJ A女性部の人たちが中心となって15年以上行っている行事で、田植え機などを使用せずひとつひとつ手で植えることによって、農業の大変さや食の大切さを経験することのできる貴重な機会となっています。

今後、10月頃には稲刈りを行い、育てたお米をおにぎりにして食べる予定です。

## 戦艦陸奥慰霊祭

82年前の昭和18年6月8日に、不慮の爆発により伊保田沖に沈んだ戦艦「陸奥」の殉難将兵慰霊祭が、爆沈の日と同じ6月8日に、油田農村環境改善センターで行われました。

慰霊祭は東和陸奥顕彰会の主催で行われているもので、全国から遺族や関係者約80人が参列しました。

式では顕彰会会長の藤本町長による追悼のことばや町内の詩吟同好会「れん」の皆さんによる詩吟の奉納など、犠牲者への冥福と平和への祈りを捧げました。



▲顕彰会会長としてあいさつする藤本町長



▲キックオフ前にフラダンスを踊るラファロハの子どもたち

## レノファ山口 周防大島町ホームタウンデーでPR

6月15日、山口市の維新みらいふスタジアムで行われたJ2サッカーリーグ、レノファ山口のホームゲームに合わせて、周防大島町ホームタウンデーが開催されました。

野外に特設で設置されたブースでは、周防大島にあるフラチーム、ラファロハとホクレレ・ホアによるフラダンスの披露や、観光PRやグッズ販売などを行い、試合開始前のスタジアム内では、藤本町長による周防大島町の紹介など、会場に集まった観客の皆さんに周防大島の魅力を伝えました。